

INDEX

ミニ研修会報告	1
会長雑感	1
納涼ナイター観戦	2
うすい日出男先生寄稿	2
会員企業訪問・岩田被服	3
委員会活動報告	4
会員異動/スケジュール	4

## 国債は大丈夫か？

—元国際線機長の異色 FP、川島茂氏が独自解説—

今年度第1回目のミニ研修会を7月20日(土)、千葉市生涯学習センターで開催しました。講師は、川島茂氏です。川島茂氏はJALの国際線パイロットの機長職でしたが、今年6月に早期退職をしました。

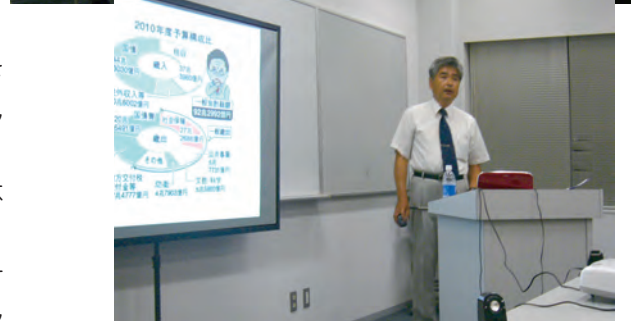
現職時代に機長職としては珍しく、コツコツと利殖の勉強をし、実践されていました。退職後の仕事として、利殖アドバイザーが自分の経験を活かせる生き方かも知れないと、5年前にファイナンシャルプランナーの資格を取られたのだそうです。

私との出会いは一昨年、現職中の川島氏に他のセミナーで友人から紹介を受けました。それ以来、保険の仕事に関する海外の資産運用について教えてもらっていました。

今回ミニ研修会を開催するにあたって、丁度、川島氏が退職され、本格的にEライフコーディネイトとして船出されたばかりでした。

月星の会員の方々も、きっと関心をもたれているであろう日本の年金問題を中心に、すでにその資金は国債にかわっていること、その他の郵貯や銀行預金、生保資金も国債を購入していること、それを政府はきちんと返済できるのか？という疑問点や、もしかしたら等の不安感もあると思います。

川島氏の見た国際的な日本の現状と、今後起こるかもしれない状況を先取りし、あまり日本がマスコミの取り上げない、取り上げられない問題点を既に破綻した国等の例をあげてもらい、忌憚な



くお話してもらいました。

誰もわからない日本の先行き、会員自らが勉強され判断する一助になればと思い企画しました。

(研修委員長 小野成子)

### 今年も「学ぶこと」を続けています、 みんなで一緒に学びましょう。

前期までの2年間、学修委員会と青年経営者共育委員会の両委員会が、ほぼ毎月学修会を開いていただきました。その他に年2回の定期講演会や親睦行事を開催しましたので、会員の中には行事が多くて忙しすぎる、と思われた方もいらっしゃる様です。

今年の総会に参加された方の中には、昨年までと違って勉強する会が極端に少なくなったと感じたようです。

確かに行事全体の中に、年2回の経営研修会が書かれていただけでした。しかし、このページに書かれているような「ミニ研修会」があったり、4ページに報告されて

いる様に、朝食例会の中でも学ぶことを続けています。

賢明な会員の方々ですから、各々の方がご自分に合った方法と時間で、経営者としての資質の向上を図られていることと思います。

私ごとですが、学生時代を思い返しても、一人では何となく勉強が進まない時に、みんなと一緒にだと判らないことも仲間に教わって理解できたり、何となく安心して勉強を続けることが出来たものです。

月星会では、研修委員会と例会委員会が、会員の方々に少しでも役に立つお話を聞いて頂きたいと、企画をされています。どうか、みんなで一緒に学ぶことを続けて行きましょう。

(月星会会長 阿佐幸雄)

## 委員会活動報告

### 親睦ナイター観戦

平成22年8月21日(土) 18:00～ 千葉マリスタジアム

#### 夏の夜のマリスタジアム

近年には、あまりなかった熱帯夜の続く8月21日、親睦会の担当で千葉ロッテ対オリックスの試合を観戦しました。私は5時半頃に入場し試合前から初めて見たのです。

まず応援合戦の凄さに驚き。地元ロッテの応援席は満席、相手側は約5分の1ぐらいでロッテ側は非常に盛り上がっていました。

9回裏まで6対6の同点延長で10回でも決着がつかず、11回裏、ロッテの大松選手がロッテファンの待つライト中段にホームランを打ち込み勝負が決まりました。試合終了は11時近く、月星会の皆さんも最後まで大声をあげて応援した結果だと思いました。パルエム席はビール1杯・ポップコーン1袋がプレゼントでしたが、当然1杯では足りず、試合が長引いた事もあり何杯も飲んでいました。家族で参加、友達と参加と、ほぼ予約どおりの人数と、何よりもわれらが臼井先生も参加して下さいましてありがとうございます

ました。

栗原親睦委員長、御苦勞様でした。

(株)池田商会 池田正勝)



## 民主党代表選挙に思う

うすい日出男

### 本番はこれからだ！

民主党代表選挙は、選前の予想通り菅代表の勝利に終わった。印象的なのは、菅代表が予想以上の大差の勝利だったことだ。中でも国会議員票においても、選前の小沢有利を覆して僅差ながら菅代表が勝ちをおさめた。党员サポーターの投票は国民の良識を示している。

私はこの代表選挙の勝敗には、あまり関心はなかった。つまりそもそも“あるべきではなかった戦い”だからだ。

挑戦者の小沢氏は、総理就任わずか3ヶ月の菅内閣で、未だに一度の予算も手がけていない菅氏を同じ民主党の内輪の争いなどするべきではなかったし、“金”の問題で国民の厳しい批判を受け、鳩山前総理と共に党幹事長を辞任したばかりで、まず反省と謹慎の姿勢を示すべき時であって、立候補そのものが過ちだと考える。これは国民的常識だろう。だが150名を超える小沢グループと言われる民主党国会議員の中で、正面切って「小沢氏に立つべきではない」と忠言する議員が全くいなかったことが、民主党の危うさをしめしている。実は本番はこれからだと思う。この代表選挙は暮れに向けての予算編成の一段階にすぎない。歳入が40兆円にも満た

ず、国債発行も44兆円限度を約束している菅内閣が、どのようにしてマニフェストで約束した国民への約束を守るのか、お手並み拝見といきたい。

### 民主党内閣への危惧

前回の衆議院議員選挙で、有権者は民主党の耳ざわりのよいマニフェストの約束を信じて政権を任せた。それから約1年経って、いま国民も民主党議員自身さえも「言うことと、やることは必ずから違う」ということを、反省と共に改めて噛みしめているはずだ。国民にとって民主党政権が困るのは、やれもしないことを選挙時に約束して、混乱を広げていることだ。沖縄の普天間基地移転問題や税金を無視した子ども手当、高速道路無料化などが典型的な例だ。だが本当に警戒すべきは、マニフェストにも示さず、国民の眼をそらしながら実行しようとしている「日本の良き伝統や日本の国体を危うく」する大問題の実現を虎視眈々と狙っていることだ。

これは鳩山前総理の「日本列島は日本人だけのものではない！」との発言が象徴している。具体的には「一般永住外国人に対する地方参政権付与法案」であり、“地方だからよいではないか”と言うが、過疎の沖縄や対馬に対する中国の特定の意思を受けた人々の力が、正に日本の国の政治を引き曲げ、国民のアイデンティティを失わせることがあってはならない。我々はこうした問題こそ、しっかりと監視していかなければならない。

## 第1回 岩田被服株式会社

# 企画提案力で勝ち進む！

## 「魅せるユニフォーム」に活路

### 岩田被服の原点

草創期に事業の展望を切り開いたのは、現会長・岩田代三の底知れぬ馬力と学習力だった。

「新港の工場街や千種町の鉄鋼団地などを端から端まで1軒ずつ飛び込みで回りました。3年ぐらいは続けたと思います。3年は通うというのが私の方針ですから」

3年通ってどれだけ受注できたかというところ、新港で3軒、鉄鋼団地で4軒。創業の糧になるほどの受注では、とてもない。しかし、振り返ればそれで十分だった。数字に置き換えられない営業の基本を代三はその3年間で自らの体内に叩き込んだからだ。

人脈もない。実績もない。文字通り徒手空拳での営業開拓である。大手企業の工場や倉庫が立ち並ぶ工場地帯を自らの足で歩き、「見積りを取らせて下さい」と頭を下げて回ったこと。そのことに大きな意味があった。

岩田被服の原点、といってもよいだろう。

もちろん、代三自身も認めるように、今同じような飛び込み営業をやるかといえ、できないであろう。というより、その必要がない。すでに岩田被服はユニフォーム業界では名の知れた存在になっている。少なくとも千葉市ではナンバーワン企業だ。

また、代三には幅広い人脈がある。月星会も貴重な人脈の一つだ。後継者の現社長・岩田直人にも、商工会議所の青年部を中心にした厚い人脈がある。

築き上げた実績と人脈があれば、飛び込みまでする必要はない。しかし代三は、そして直人も、飛び込みで受注を切り開いた草創期の精神を大切にしている。

直人は言う。「飛び込みまではしませんが、自分の足で見込み客を回ることを努めて続けています」と。これは、原点を大切にしたい気持ちの表れにほかならない。

そして実はもう一つ、草創期の3年間で現在の同社の原点といえる理由がある。同社が今最も得意とする「企画提案力」の基礎をこの時に吸収したことだ。

「飛び込みの1回目は、いわば観察です。どういうユニフォームで作業をしているのか、自分の目で確認しながらいろいろな提案アイデアを考えていました」(代三)

足で稼ぐといっても、ただ頭を下げるだけで受注できるほど市場は甘くない。2回、3回と訪ねる度に新しいユニフォーム類の提案を重ねていたのである。その営業姿勢は、2代目直人に受け継がれた。岩田被服の今日の受注力は、直人の企画力およびデザイン力に依るところが大きい。

代三は言う。「よくこういう斬新なデザインができるなと私が驚くほど凄いものを出してきます」と。親心では、決してない。40年間、様々なユニフォームを手掛けてきた経験則で評価しているのである。

### 事業承継の成功例

岩田被服は、昭和44年に代三が興した会社である。作業服を扱う会社で「小僧をしていた」代三が一念発起し、28歳の時に夫婦二人で創業した。糟糠の妻は、縫製のプロフェッショナルだった。

草創期の売上げを支えたのは、千葉の受注先ではない。ナショナルメーカーの三菱農機だった。都内の営業本部から「つなぎ」200着の注文を受けたのが初受注で、以来、全国の三菱農機の事業所から注文をいただくようになり、草創期から今日まで売上げの柱の一つになった。

代三は「これはありがたかった」と振り返っている。しかし、代三は三菱農機の受注だけに満足することなく、地元千葉の受注を自らの足と企画提案力で獲得していったのである。

平成18年、代三は長男の直人に代表権を譲った。「60歳で譲るつもりだったけど、事業の状況を見て5年間延ばしたのです。ベストタイミングで譲ろうと思ったので」。

この事業承継には親心が見え隠れする。60歳の時は業績や低迷、65歳の時は業績が順調に推移していた。業績低迷時に30代半ばの直人に譲るのは厳しすぎると考えたのである。

株はどうしたかというところ、すでにその10年前に譲渡していた。自社株の時価総額が最も低い時に「これぞチャンス」とばかりに、全株譲渡した。チャンスとは、いうまでもなく「税金」である。

直人は、「事業承継が非常にうまくいった例だと思う」と父の決断を客観的な視点から評価している。

事業承継後、直人が最も力を入れているのは、警備業やホテルなどサービス業のユニフォームである。着ている本人も周囲も楽しくなるユニフォーム。従来の作業着や制服のイメージを根底から打ち破る「魅せるユニフォーム！」。

岩田被服の2代目社長、岩田直人の目には自信が満ち溢れていた。



(取材・文責／奥平 次回は、岩田直人社長の推薦で星野歯科クリニックを予定しています)

## 委員会活動報告

### 朝食例会8、9月度報告

平成22年8月7日・9月11日(土) ホテルグリーンタワー幕張

8月度、9月度と、前回好評を頂いた元大使の中村義博氏を招き、ご講演をいただきました。ここ最近の朝食例会は、参加人数の減少が見られる傾向にありましたが、お陰さまで8月度は久しぶりに30名を越す出席者を数えることが出来ました。参加したある方からは、「生で大使経験者の話を聞ける機会はそうあるものではない。この企画に心惹かれ参加しました。」とのありがたいお言葉を頂きました。



また、新入会員の税理士の向後保雄さんもご参加いただきましたが、認証章の準備が整わず、認証式は次回となりました。

これからも内容の濃い朝食例会を運営していきたいと思えますので、月に1回の早起きを実践してみませんか。

#### 次回以降のTOPICS

- ゲスト講演** 「意外と知らない千葉の歴史～埋め立て前の知名歴史探訪～」講師未定。
- 向後保雄さんの入会認証式** 新しい仲間の誕生です。より多くの方で歓迎いたしましょう。
- 美術鑑賞の壺** ご存知山本相談役による名物コーナー。芸術・美術の美しいところを頂いちゃいましょう。
- 議会活動報告** 会員の茂手木直忠市議会議員、小川智之市議、川村博章市議、向後保雄市議ら出席者した現職の皆さんから貴重なお話を伺います。
- 企業PRコーナー** 改めて皆さんのお仕事やおすすめ商品などを会員に向けPRしてみませんか。(うすい 正一)



## 研修親睦旅行

### ～紅葉の裏磐梯土湯温泉～

今年の研修親睦旅行は福島土湯温泉です。紅葉の裏磐梯と二本松菊人形展です。源泉かけ流しの露天風呂とおいしいお酒とお料理で、ひごろの疲れを癒しましょう。

● **日時** 10/17(日)～18(月)  
7:30 集合時間厳守

● **会費** ¥30,000

委員一同 お待ちしております。

(親睦委員会一同)



## 9・10・11月のスケジュール

9/26(日)	YEGダンスパーク 10:00～17:30 千葉市中央公園 月星会で焼そばの店を開店。STAFF募集中!!
10/6(水)	役員会 18:30開会 プラザ菜の花
10/9(土)	定例朝食会 07:00開会 参加費 2,000円 会場:ホテルグリーンタワー幕張
10/9(土)	ミニ研修会(陶芸教室) 13:00～15:00 陶芸作家神谷紀雄工房
10/17(日) ～18(月)	研修親睦旅行 千葉駅NTT前 7:30出発 紅葉の裏磐梯土湯温泉 参加費 30,000円
11/9(火)	役員会 18:30開会 プラザ菜の花
11/13(土)	定例朝食会 07:00開会 参加費 2,000円 会場:ホテルグリーンタワー幕張

## 会員異動 入会



コウゴ ヤスオ  
**向後 保雄**  
昭和33年12月10日生

血液型 O型

紹介者 小野成子、白井正一

事業所名 向後保雄税理士事務所

役職 代表者

所在地 〒260-0017 千葉市中央区要町5-6 松山ビル2階  
TEL 043-221-1288 FAX 043-221-5422  
携帯電話 090-3240-7505 e-mail: kogoyasu@beige.ocn.ne.jp  
主力事業内容: 税務申告・税務相談  
趣味: 社交ダンス、テニス 家族: 妻、長女、次女

## 勤務先変更(組織統合移転)

志村美知子氏 住友生命保険相互会社千葉支社新ちば支部  
〒260-0013 千葉市中央区中央1-1-3  
TEL.043-227-0561 FAX.043-227-7698

## 編集後記

本号の編集作業にかかった時がちょうど民主党の代表選挙でした。どうなることやらと見つめながら皆さんからいただいた記事を整理していました。結果はご承知の通りです。白井先生の原稿は代表選の結果を見てから速攻でご執筆いただいたものです。いつもながら説得力のある論調は、さすがに我々の“大将”という気がいたします。これからもよろしくお願いいたします。

さて、今号から「会員企業訪問」の連載を始めました。私も岩田被服さんの取材に立ち会いましたが、我々仲間の苦勞話や経営信条を本音で聴けるのはいいものです。勉強になります。次号もお楽しみに。なお、訪問企業の自薦他薦がありましたら、どうぞ産方までご連絡ください。(産方)